

総合学科通信

～希望の空へ～

第5号

2025年3月24日(月)発行

北海道室蘭東翔高等学校

<http://www.m-tosho.hokkaido-c.ed.jp/>

理想の海へ

～室蘭東翔高等学校第19回卒業式～



3月1日 まぶしいほどの陽光を浴び、152名が理想の海へ漕ぎ出しました。満場のエールの中、「3年間東翔高校で学んだことを誇りに思います!」と力強く結んだ工藤理央さんの答辞が印象的でした。さあ、在校生の皆さんも新年度に向けてしっかりと取り組みましょう!

<3年生の進路状況>

(3月19日現在)

	卒業生数	大学	短大	専門学校	看護	就職	公務員	未就職	その他
男	71	20	1	25	2	15	7	1	0
女	81	10	4	37	17	12	0	0	1
計	152	30	5	62	19	27	7	1	1

「北海道高等学校総合学科学習成果発表会」(3年次)

1月24日(金)、札幌市において全道の総合学科高校で学ぶ高校生が集い、日頃の学習成果について発表する「北海道高等学校総合学科学習成果発表会」が開催されました。各校の発表では、街や地域、企業と一緒に考えるものも多く、高校生の視点から新鮮な発表も数多くありました。

本校からは、「課題研究全体発表会」で代表に選ばれた柴田隼羽さん(3-3)と篠原昊翔さん(3-4)が参加し、『高校生から始める資産運用』と題して、奨学金による自己破産、経済的理由による進学断念という問題を踏まえ、高校生からでも世の中や経済に興味を持ち、資産運用について勉強することで、自己資金調達を行うことができるのではないかという思いを胸に、東翔高校の代表としてふさわしい発表をしてくれました。



「課題研究全体発表会」に向けた取り組み（2年次）

2年次生は、12月から「総合的な探究の時間」で課題研究に関する活動が始まりました。本格的に研究が始まるのは3年次からですが、2年次のこの時期に行うテーマ設定に向けた取り組みは研究の土台になる大事なステップです。まずはオリエンテーションでなぜ課題研究を行うのか、テーマ設定のポイントなどについて話を聞き、冬休み中に自分の研究テーマの「種」を見つけるためのマインドマップ作成に取り組みました。現在はそれをもとに研究テーマについての計画書を各自作成しています。今回の課題研究では、前年度の「グループ研究」の形を引継ぎつつ、さらに新しくテーマ設定に「SDGs」の視点を意識しながら取り組んでいく予定です。4月からは本格的に仲間と協働しながら、楽しく研究活動に取り組んでくれることを期待します。



「ライフプラン全体発表会」（1年次）

2月13日(木)の産業社会と人間では、「ライフプラン全体発表会」を実施しました。クラス内発表で特に優れていると評価された代表生徒が、自分の将来についてのビジョンや今後の学校生活の目標などについて発表を行いました。個性あふれる12の発表に1年次の仲間たちも真剣に耳を傾け、発表後には、この日のためにプレゼンテーションの準備に力を注いで来た代表生徒へ向けて、会場から惜しみない拍手が送られました。

「自分自身を知り、社会を知り、進路と向き合う中で自己の生き方・在り方を考える」という4月からの産社の諸活動の集大成として、ふさわしいイベントとなりました。



「進路別ガイダンス」（全年次）

2月6日(木)、進学・就職先が内定した3年次生から1・2年次生に向けて、進路実現のために取り組んできた様々な体験やアドバイスを直接伝える「進路別ガイダンス」を実施しました。生徒たちは大学、看護学校、専門学校、就職・公務員の4分野に分かれ、進路決定までに取り組んだことや面接に向けた具体的なアドバイスを受けることで、1・2年次生の進路に対する意識が高まり今後の進路活動に向けて有意義な時間となりました。



